

# 平成30年度玖珠町定期予防接種スケジュール

赤ちゃんは生後8～12月頃までに、お母さんからもらった免疫を自然と失い、赤ちゃん自身で免疫を作る必要が生じます。  
 予防接種は免疫力をつけることにより、病気に対する抵抗力をつけ、発病を予防し、症状を軽くする方法です。  
 また、お子さんが感染しないためだけでなく、家族や身近な周囲へ感染を広げないために予防接種は必要とされています。

予防接種で免疫をつけ、感染症を予防しましょう。

ワクチン	種類	次の接種を行うまでの期間	2 カ 月	3 カ 月	4 カ 月	5 カ 月	6 カ 月	7 カ 月	8 カ 月	9 カ 月	1 0 カ 月	1 1 カ 月	1 1 歳 0 カ 月 5 カ 月	1 1 歳 6 カ 月 1 カ 月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	1 0 歳	1 1 歳	1 2 歳	1 3 歳	1 4 歳	1 5 歳	1 6 歳	1 7 歳	1 8 歳	1 9 歳					
B型肝炎	不活化	6日以上 (同じワクチンの場合は 27日以上)	①	②								③	初回接種は、27日以上の間隔をおいて2回。第1回目の注射から139日以上の間隔をおいて、さらに1回の計3回を1歳のお誕生日の前日までに接種する。標準的な接種期間は生後2ヶ月～9ヶ月に至るまでの間。																								
ヒブ	不活化	6日以上 (同じワクチンの場合は 27日以上)	①	②	③								④	初回接種は、27日以上の間隔をおいて3回。追加接種は3回目終了後、7ヶ月～13ヶ月の間隔をおいて1回接種すること。																							
小児用肺炎球菌	不活化	6日以上 (同じワクチンの場合は 27日以上)	①	②	③								④	初回接種は、27日以上の間隔をおいて3回。追加接種は3回目終了後、60日以上の間隔をおいて、原則として生後12ヶ月～15ヶ月の期間に1回接種すること。(接種開始時期によって接種回数が変わります。)																							
四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	不活化	6日以上 (同じワクチンの場合は 20日以上)		①	②	③								④	1期初回接種は、20日以上の間隔をおいて3回。追加接種は3回目終了後、6ヶ月をあけて、標準的には12ヶ月～18ヶ月(1年～1年半)の間隔をおいて1回接種すること。※3種混合ワクチンはH30年1月末～販売を再開したが、大分県内では次のとおり対応する。①以前に3種混合ワクチンを接種しており、まだ終了されていない方は、続きを4種混合で接種する。②万が一、3種混合ワクチンを接種希望する場合は、事前に医療機関に問い合わせる。																						
BCG	生	27日以上			①										接種可能月齢及び公費助成期間は生後3ヶ月～1歳の誕生日の前日まで。標準的接種月齢を生後5ヶ月～8ヶ月に達するまでとし、1回接種する。																						
MR混合 (麻しん・風しん)	生	27日以上												1期 ①																					2期 ①	小学校就学前1年間(平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ)が対象。	
水痘(みずぼうそう)	生	27日以上												①	②																				2期接種として、9歳の誕生日から13歳の誕生日の前日までに、1回接種する。標準的接種年齢を小学校4年生とする。		
日本脳炎	不活化	6日以上																																1期 ①②③	2期 ①		
日本脳炎特例対象者	不活化	6日以上	従来のワクチン接種後に重大な副作用が認められたことから、平成17年5月30日から定期予防接種としての積極的勧奨の差し控えが行われていた。 平成22年4月から、新しいワクチンが定期予防接種として認められたため、 (1)平成22年4月2日から平成21年4月1日生まれの方は、第1期不足分と第2期を20歳未満の間に接種を受けることができる。 (2)平成19年4月2日から平成21年10月1日生まれの方は、第1期不足分と第2期を9歳から13歳未満の間に接種を受けることができる。 接種間隔は、1期初回接種は、6日以上の間隔をおいて2回。追加接種は2回目終了後、6ヶ月、おおむね1年の間隔をおいて1回接種する。9歳以上であれば、その後2期の接種を、1期終了後6日以上の間隔をおいて1回接種する。																				1期 ①②③	2期 ①													
二種混合(DTⅡ期) (ジフテリア・破傷風)	不活化	6日以上																																	1期 ①	2期 ①	小学校6年生(平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれ)が対象。
子宮頸がん予防ワクチン	不活化	6日以上																																	①②③	対象者は小学校6年～高校1年生の女子とする。ワクチンは2種類あり、それぞれ接種間隔が異なるが、基本的に初回接種を2回と追加接種を1回の計3回の接種となる。 現在積極的接種勧奨を控えています。	

\* 色つきの部分が公費助成対象期間(無料で接種できる期間)となります。□で囲まれている部分が、標準的な接種時期となります。